


令和 4年 4月28日

令和3年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 松村 直人

活動テーマ	鈴鹿川等源流の森林づくり活動の支援
実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動に協力し、市内の人工林の整備方法や貴重なブナ天然林の価値や保全についての普及活動を、協議会活動や教育委員会の人材育成事業を通じて行った。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 「森林は地域の宝」と認識していただくために、ドローンの空撮写真による森林評価や「森と水の守り人養成講座」や協議会活動を通じて、地域の森林の価値をPRした。残念ながらコロナ禍での活動となり、中止の講座やイベントも多く、秋以降に、協議会の活動は限定的に実施された。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 活動のベースとなる協議会事務局や教育委員会と継続的に連携している。「森と水の守り人養成講座」は来年度に延期して、実施予定である。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり ドローンの空撮写真を利用した森林評価手法の確立や気候変動に対応した貴重なブナ天然林の保全は急務な研究課題であり、貴重なフィールドを提供していただき、学生の教育研究、学会発表や論文投稿にも非常に貢献いただいた。</p>  <p>ドローンによる調査風景</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）</p>

1. 鈴鹿川等源流の森づくり協議会 総会 R3.05 (書面決議に変更)
2. 東海自然歩道散策 R3.11.3 鈴鹿峠自然の家・AGFの森：人工林歩き・ツリークライミング・木工(踏み台)など 25名
3. 野登地区の協議会 里山フィールド活動 R4.3.5：植樹・シイタケ菌打ち・里山林歩き 45名



ツリークライミング



里山歩き



シイタケの菌打ち体験

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

鈴鹿川等源流の森づくり協議会の活動は地元企業の資金支援も受けながら活発に展開し、市民団体、自治会、地元企業の協力のプラットフォームに成長している。来年度も、亀山市森林管理協議会や環境審議会、教育委員会とも連携して、森づくり協議会の活動を広げ、市民への広報、普及活動を継続する予定である。